

2018（平成30）年度

弘前学院大学「卒業時アンケート調査」

実施結果報告書

## まえがき

大学における教育の質について、その充実・向上、点検・検証、それらを踏まえた改善というサイクルが求められ、全国の大学で広く実施されてきている。

本学でも全学教学マネジメント体制を整備しつつ、教育の質保証に係る評価の一環として、このたび、学士課程教育の検証を目的として、学生の成長実感、満足度に焦点を当て、初年次教育、教養教育、専門教育の成果・効果を測るために、あわせてその支援体制としての学修環境・学生生活に関する意見を求めた。

本学の教育の有効性を検証し、あわせて外部への説明責任を果たすべく、この結果を公表するものである。

### 目 次

I 卒業時アンケート調査実施要項(1)

II 実施結果(2)

III 資料(17)

(1) 卒業時アンケート調査票(17)

(2) 設問 11「自由記述」一覧(23)

# I 卒業時アンケート調査実施要項

## はじめに

「大学 FD 委員会」の規程第 5 条に基づき、本学の教育の質保証に係る評価の一環として、卒業生に対する卒業時アンケート調査を実施する。

### 1. 目的

弘前学院大学の教育の質保証について、本学の学士課程教育の有効性の検証を行うべく、本学の学部教育における学修成果に関して、卒業時の学生がどのような意識を持っているかを調査・分析し、その結果を踏まえて、教育課程・教育方法・教育内容等の充実、改善に資することを目的とする。

### 2. 内容

(1) 学士課程教育について、および学修環境、学生支援、その他について。

基礎教育、教養教育についての意識、評価

専門教育についての意識、評価および進路との関連性

(2) 学修環境、学生支援

(3) 弘前学院大学に対する要望、評価

### 3. 設問

資料：「卒業時アンケート調査票」参照

### 4. 調査主体

大学 FD 委員会。

### 5. 調査時期

2019 年 3 月、卒業時。

回収率および調査の精度を上げるため、学位記授与式の前日の予行日に実施する。

(実施日：2019 (平成 30) 年 3 月 15 日 (金))

### 6. 調査方法

各学部を通じてアンケート用紙を配布し、回収する。

### 7. 調査対象者 (卒業予定者数、回収数、回収率)

2018 年度卒業 (予定) 学生を対象とする。

調査対象者：2018 (平成 30) 年度卒業予定者

### 8. 実施体制

大学 FD 委員会および各学部 FD 委員会。

## II 実施結果

### 1. 回収率

実施した結果、卒業予定者数 127 人、回収数 118、回収率 92.9%となり、きわめて高い回収率となった。

卒業学部・学科ごとの内訳

卒業学部・学科	卒業予定者数	回収数	回収率 (%)
文学部	47	45	95.7
英語・英米文学科	20	19	95
日本語・日本文学科	27	26	96.3
社会福祉学部・社会福祉学科	29	26	89.7
看護学部・看護学科	51	47	92.2
全体	127	118	92.9

(社会福祉学部と看護学部は、1学部・1学科である。)

### 2. 回答内容、データ

以下、設問ごとにその回答内容等をみていく。

(なお以下において、学部・学科を次のように略称する場合がある。)

文学部：英語・英米文学科→英、英文。文学部：日本語・日本文学科→日、日文。  
社会福祉学部→社福。看護学部→看。)

設問2 進路(進学、就職)をたずねた設問である。

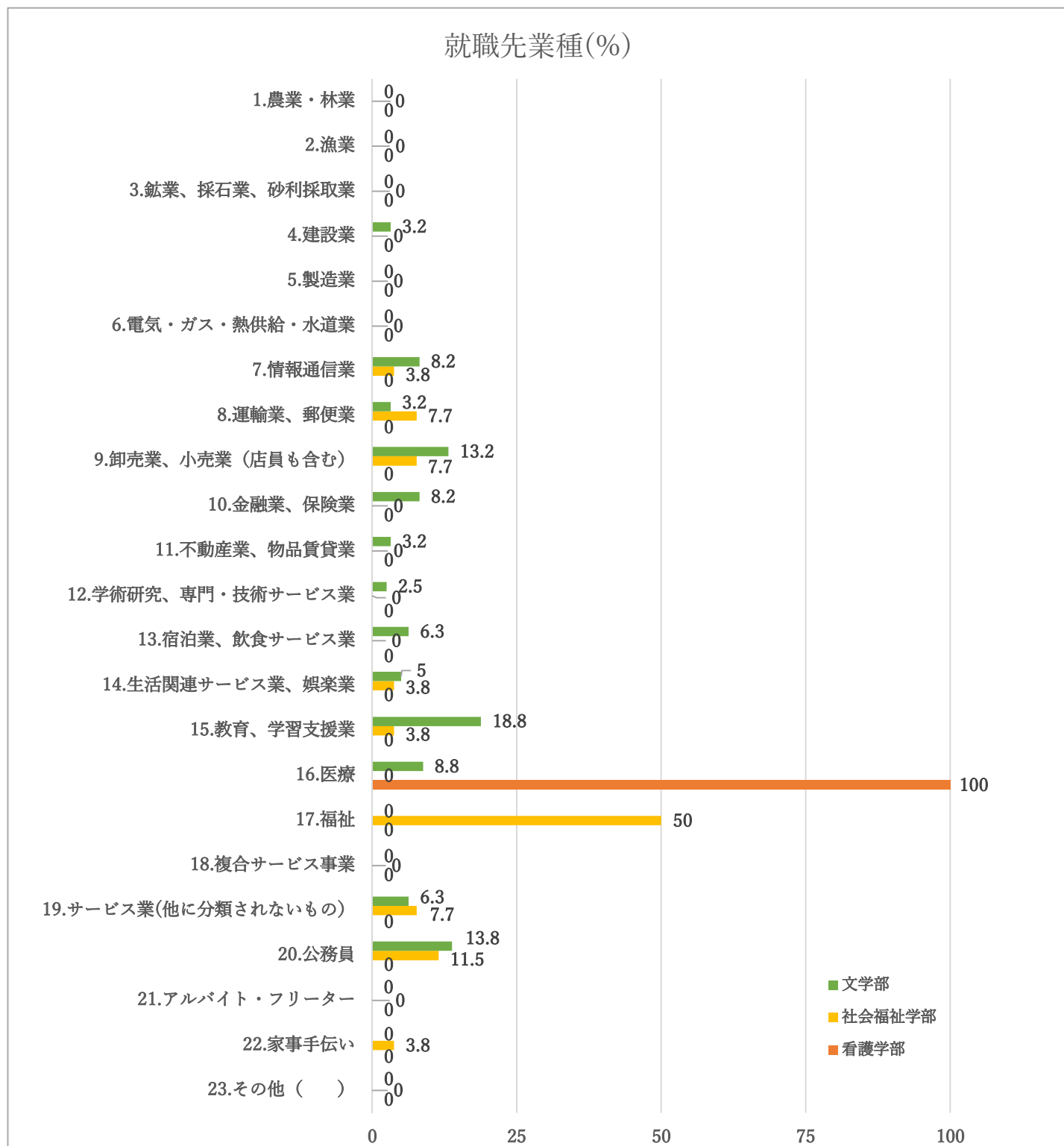
進学については以下のようなものである。

進学先	本学大学院	他大学大学院	他大学、 専門学校等
卒業学部・学科			
文学部	0人	4人	1人
英語・英米文学科	0	2	0
日本語・日本文学科	0	2	1
社会福祉学部・社会福祉学科	0	0	0
看護学部・看護学科	0	0	0
全体	0人	4人	1人

就職等については以下のようなものである。

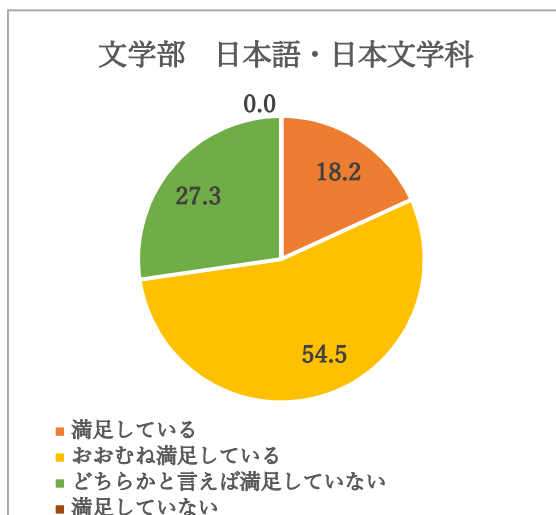
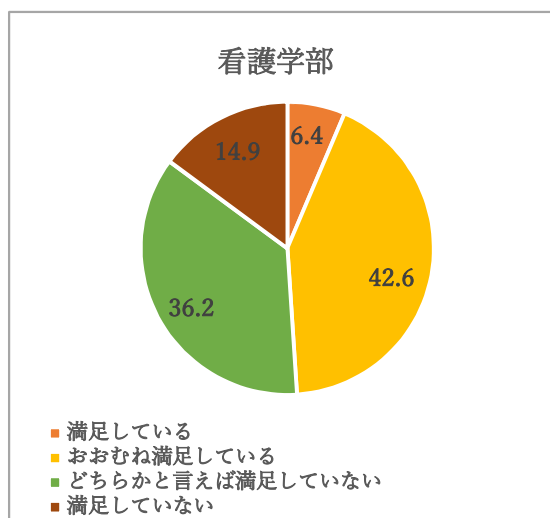
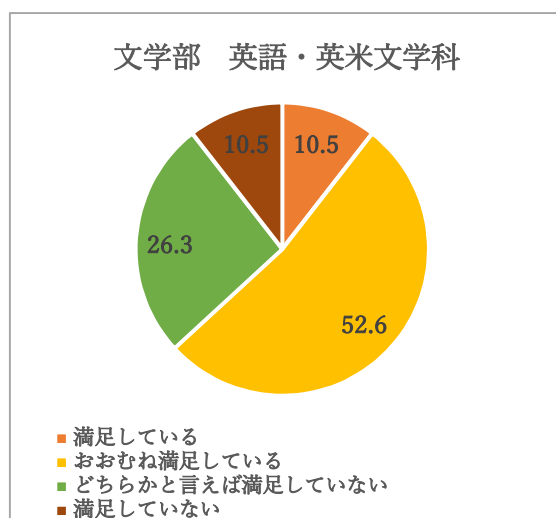
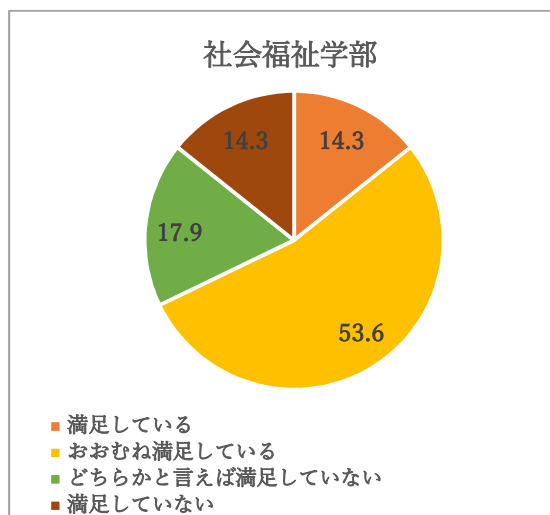
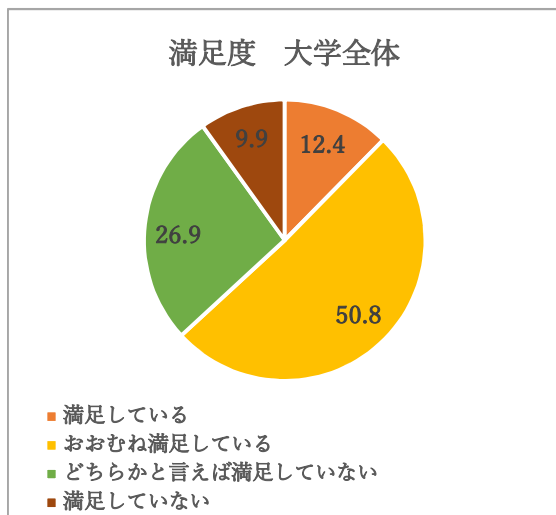
学部の特徴が現れているので、業種ごとに3学部を配列した。

文学部は業種が多岐に亘るが、社会福祉学部では福祉関係が50%、さらに看護学部では医療関係が100%であった。学部の特徴が顕著である。



設問3 学業・学生生活の満足度をたずねた設問である。

全学的には、おおむね6割程度の満足度とみられるが、「満足していない」「どちらかといえば満足していない」の不満足系が、約3～4割、また5割にもものぼっている学部・学科がある。



設問4 前問3の満足度に続けて、さらに具体的に大学での勉学や学生生活にとって良かったと思う項目をたずねた設問である。

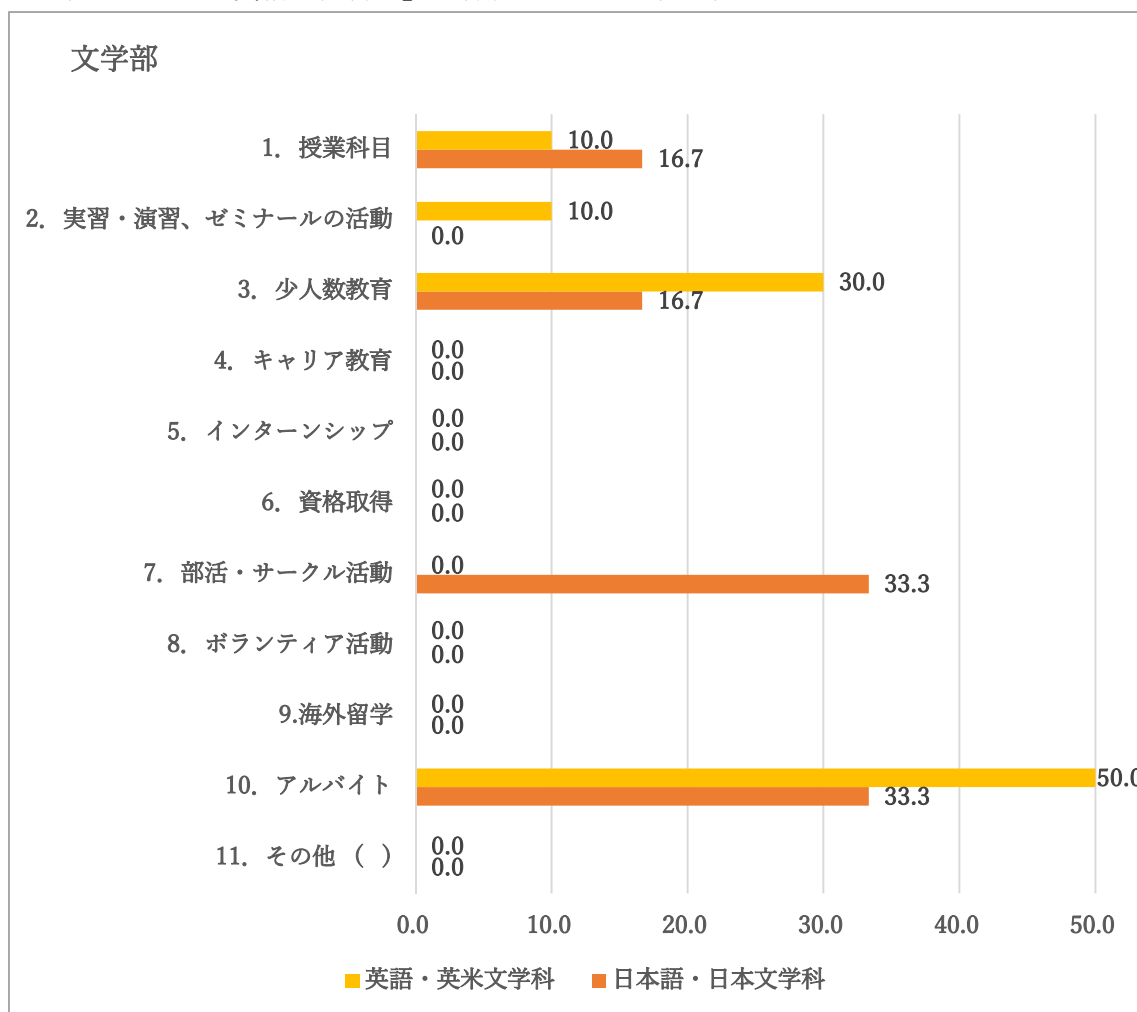
学部・学科ごとに異なる分布を示している。割合の高い3位までの項目を挙げてみると次のようである。

文学部英文では、1位…アルバイト（50%）／2位…少人数（30%）／3位…授業（10%）、実習・演習・ゼミナール活動（10%）。日文では、1位…アルバイト（33.3%）、部活・サークル（33.3%）／3位…少人数（16.7%）、授業（16.7%）。

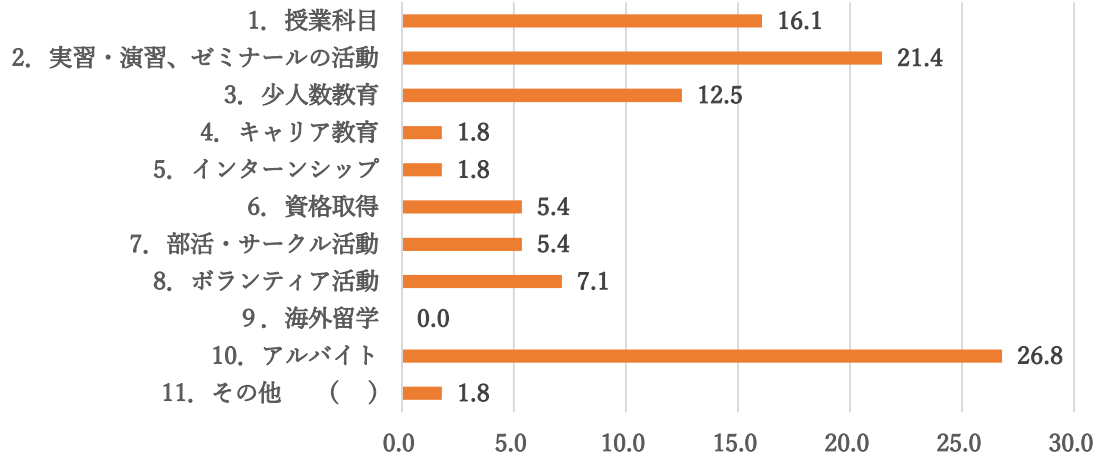
社会福祉学部では、1位…アルバイト（26.8%）／2位…実習・演習・ゼミナール活動（21.4%）／3位…授業（16.1%）。

看護学部では、1位…資格取得（29.7%）／2位…実習・演習・ゼミナール活動（18.8%）、アルバイト（18.8%）。

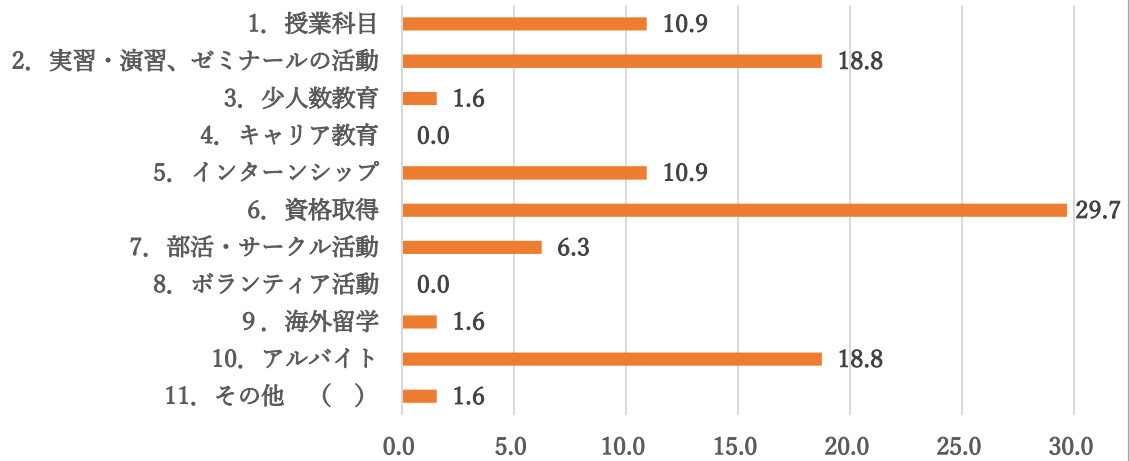
全学的な傾向として、「アルバイト」が高い数値を示し、次いで「少人数教育」、「実習、演習、ゼミナールの活動」が続いている。ただし、「授業科目」は2割に届いていない。個別적으로는「資格取得科目」が看護においては約3割になっている。



### 社会福祉学部



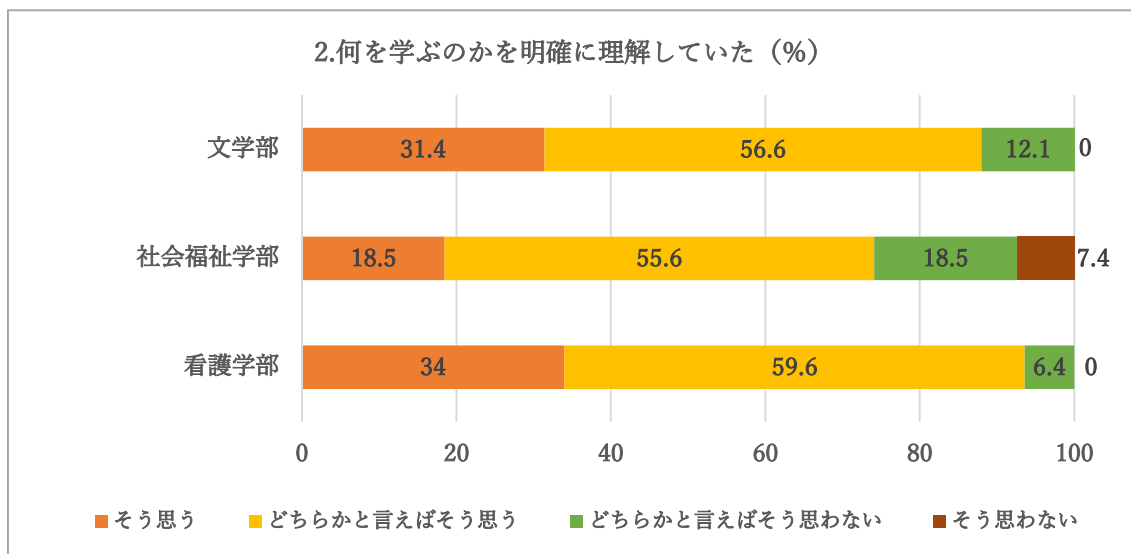
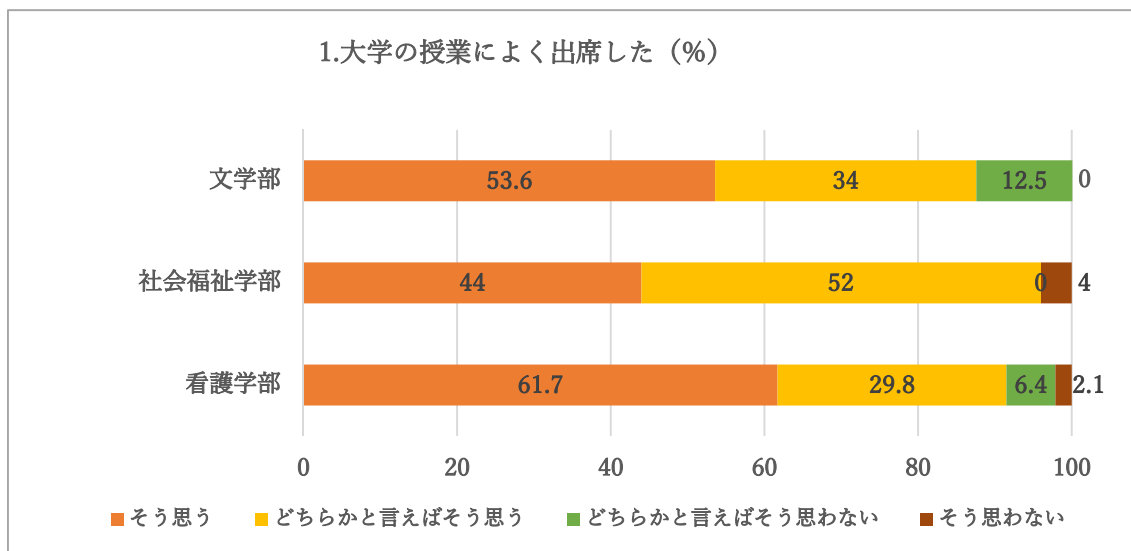
### 看護学部

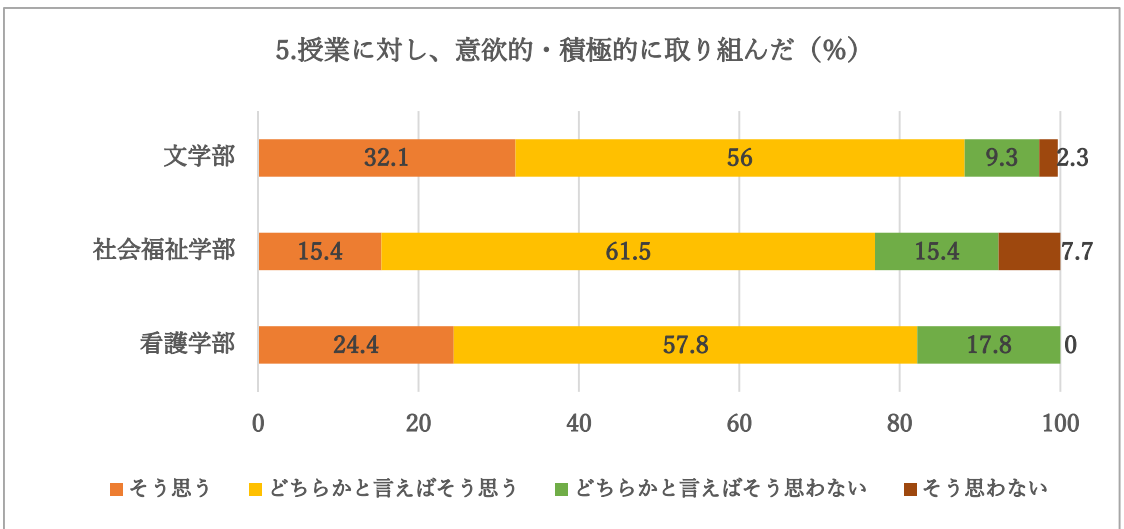
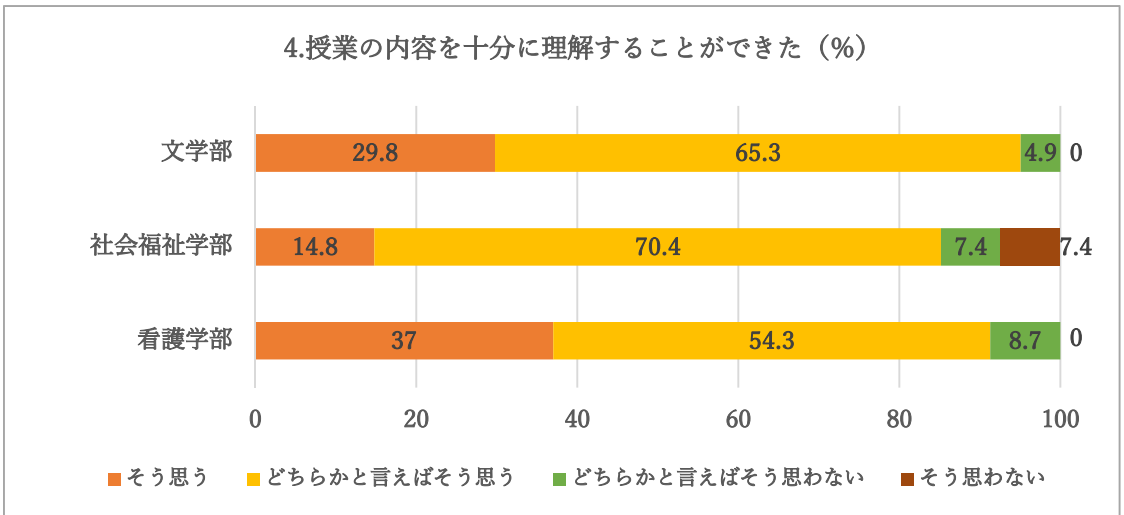
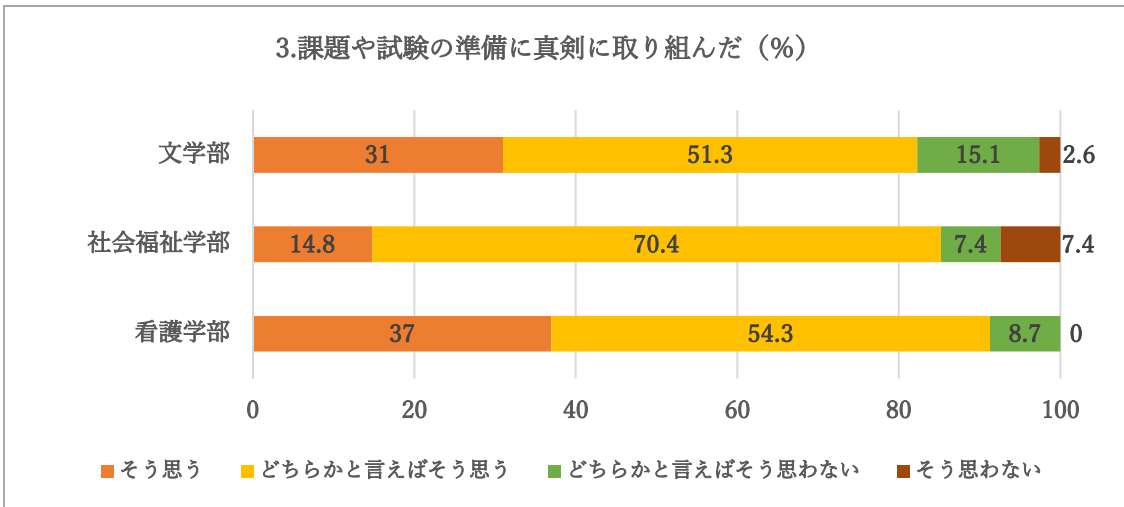




**設問5 大学での学修についての自己評価である。**

ここでは以下の5つの側面からたずねた。すなわち（1）授業への意欲、（2）授業内容の理解度、（3）課題、試験等への取り組み度、（4）学ぶ目的の理解度、（5）授業出席率である。その結果、いずれにおいても、「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」という回答が、全体の8割から9割の高率であるのは喜ばしい結果である。率である。





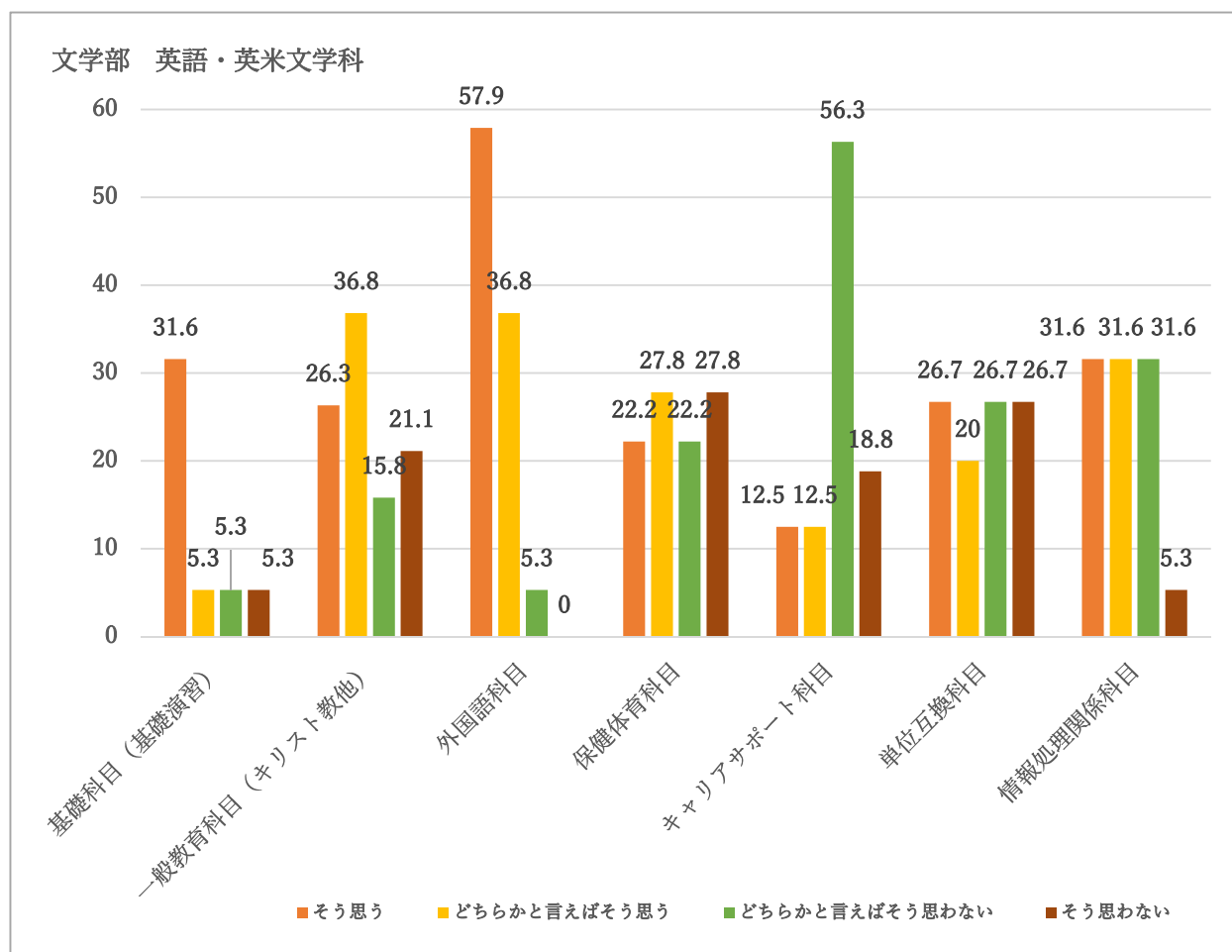
設問6 1・2年次における基礎科目、一般教育科目、外国語科目、保健体育科目、キャリアサポート科目、単位互換科目、情報処理科目の中で、有益だったと思う分野や科目をたずねた設問である。ただし、学部・学科固有の選択肢があるので、学部・学科ごとに示す。

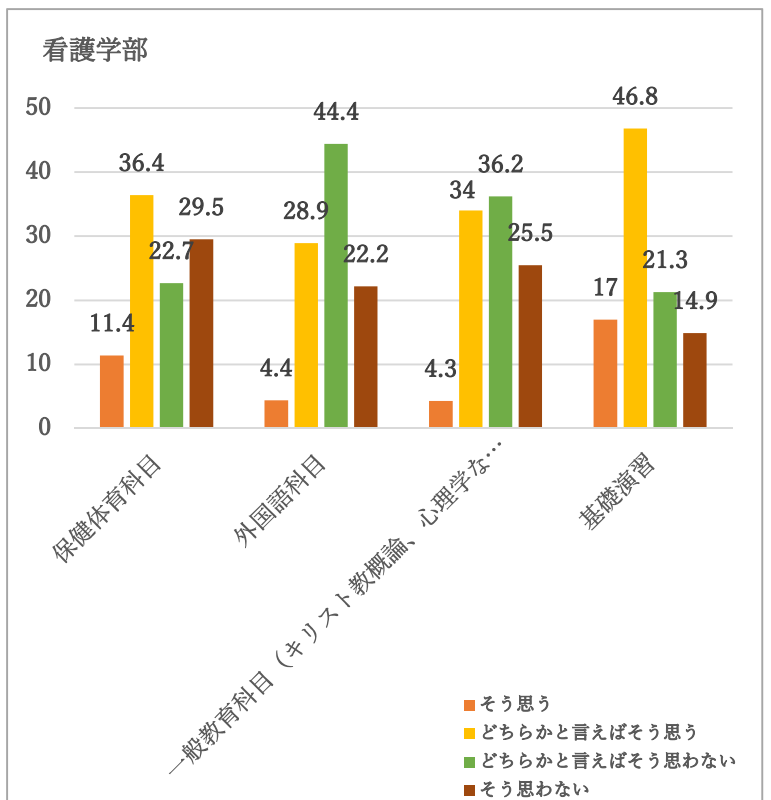
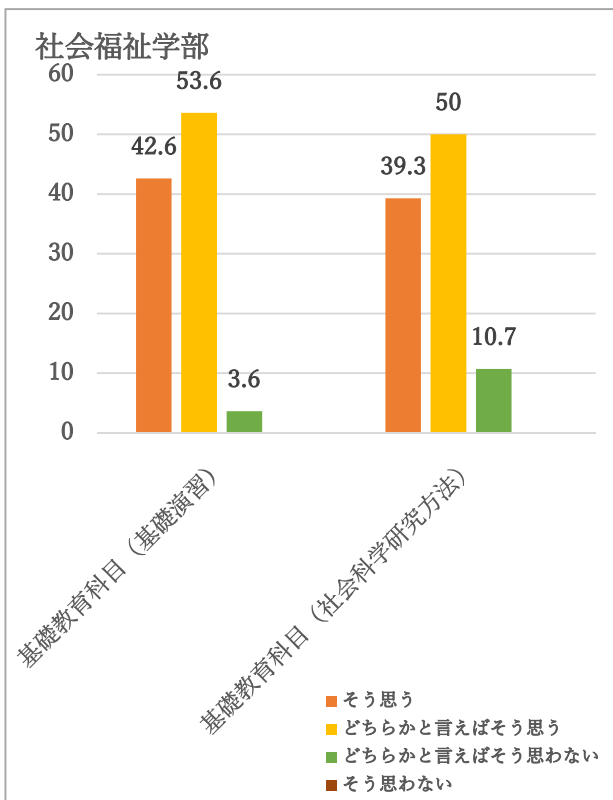
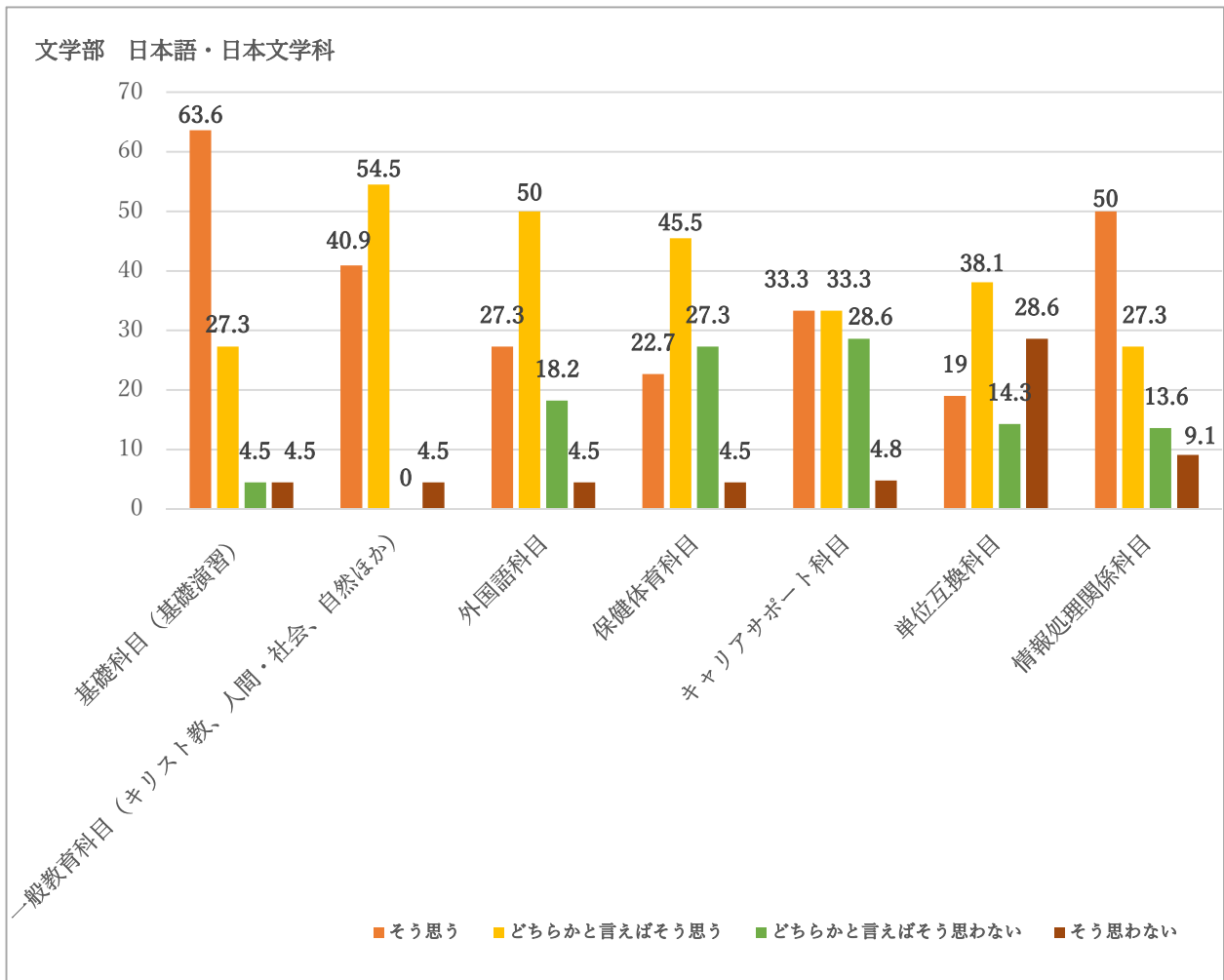
文学部英文・日文では、基礎科目、一般教育科目、外国語科目が有益だったと評価されているが、キャリアサポート科目・情報処理関係科目に対する見方が、英文と日文とは正反対の評価になっている。

日文では1~7のこれらの科目に対して、総体的に有益であると評価している。

社会福祉学部では基礎教育科目系のみを取り上げて尋ねているが、この2種の基礎教育科目系のいずれに対しても高評価であった。

看護学部でも基礎演習の有益なことは評価されているとみてよいであろう。

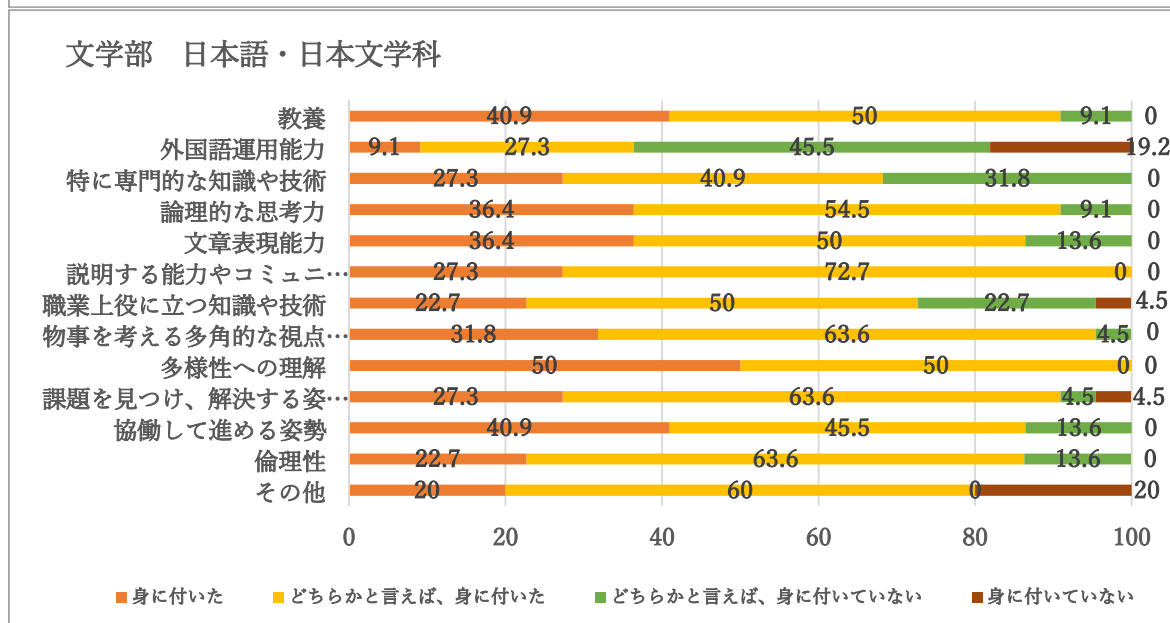
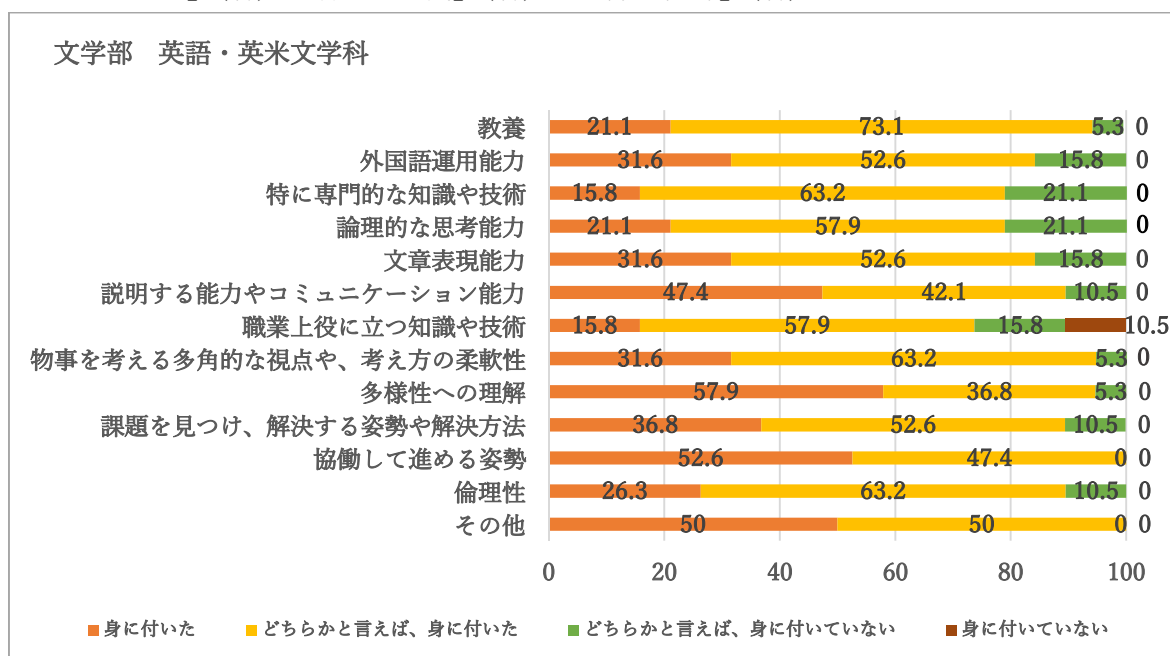


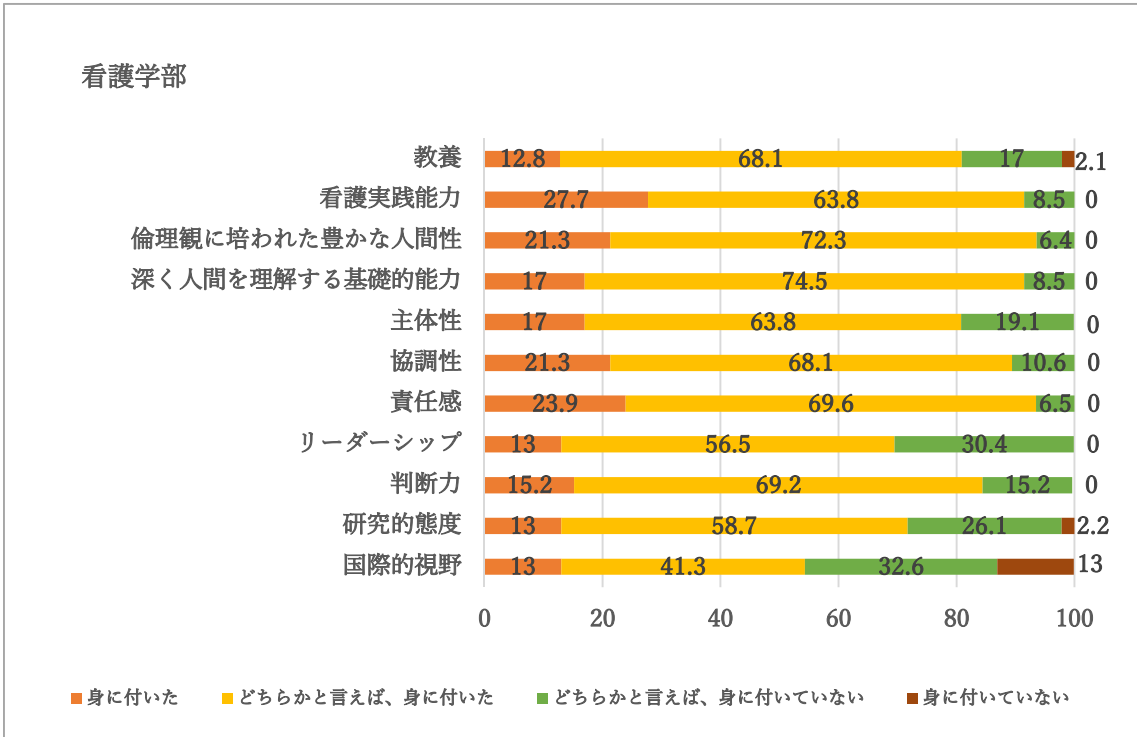
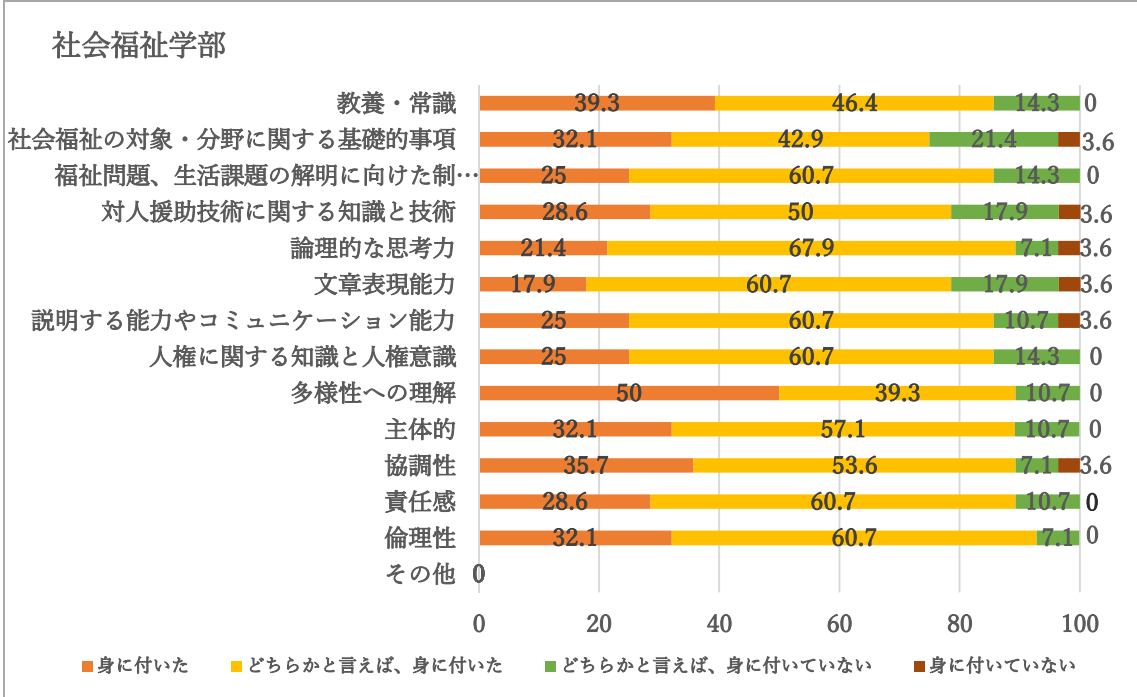


設問7 前問に続けて、学部・学科の専門教育科目についてである。それらの授業を通して、どのような知識・技能・能力が身に付いたか、自己評価してもらう設問である。これも学部・学科固有の選択肢を含んでいるので、学部・学科ごとに示す。

全体的に、「身に付いた」「どちらかと言えば身に付いた」という肯定的自己評価が7割、8割以上であるのは喜ばしい。

反面、「身に付いていない」「どちらかと言えば身に付いていない」という否定的自己評価も散見する。その中からおよそ2割程度以上の項目を挙げてみると、「特に専門的な知識や技術」(英・日)、「論理的な思考能力」(英)、「職業上役に立つ知識や技術」(英・日)、「外国語運用能力」(日)、「文章表現能力」(社福)、「対人援助技術に関する知識と技術」(社福)、「社会福祉の対象・分野に関する基礎的事項」(社福)、「主体性」(看)、「リーダーシップ」(看)、「研究的態度」(看)、「国際的視野」(看)などである。

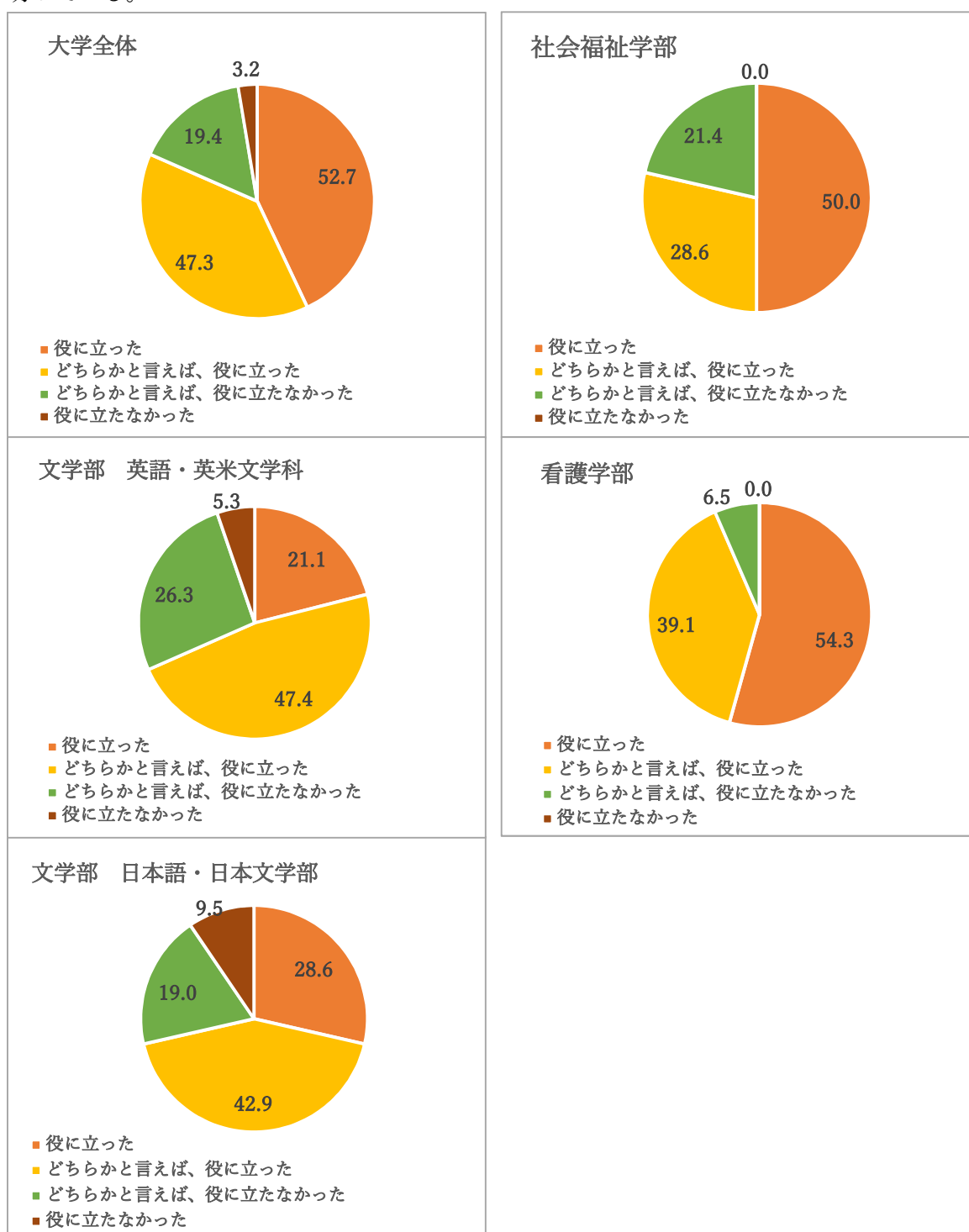




**設問 8 学部での学修が、進路選択に有効だったかどうかの設問である。**

学部教育の特徴を反映しているゆえか、学部によってかなり異なる傾向をみせている。文学部（英文・日文）については、「役に立った」と「どちらかと言えば役に立った」が約7割で、「役に立たなかった」と「どちらかと言えば役に立たなかった」が約3割であった。

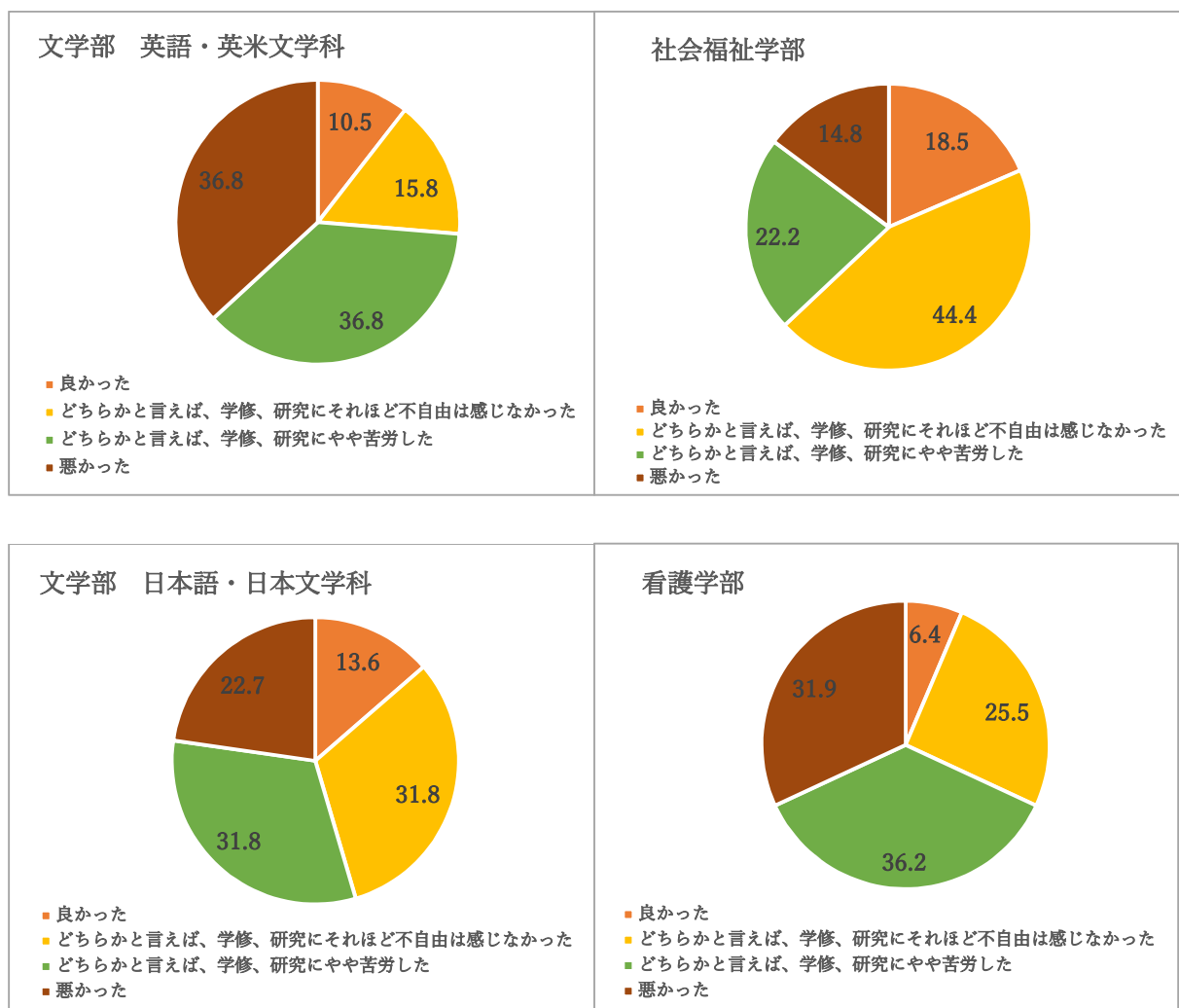
一方、社会福祉学部では、前者の役立った系が約8割で、後者の役に立たなかった系が約2割、看護学部では、前者の役立った系が9割を超え、後者の役に立たなかった系が1割を切っている。



設問9 学修・研究環境について、大学の施設、設備、備品の充実度を評価してもらう設問である。

ひとことで言えば、かなり厳しい評価であった。

「悪かった」と「学修、研究にやや苦勞した」が、英文では7割を超え、看護学部でも約7割という数字である。日文でも5割を超え、社会福祉学部でも4割に届こうとしている。

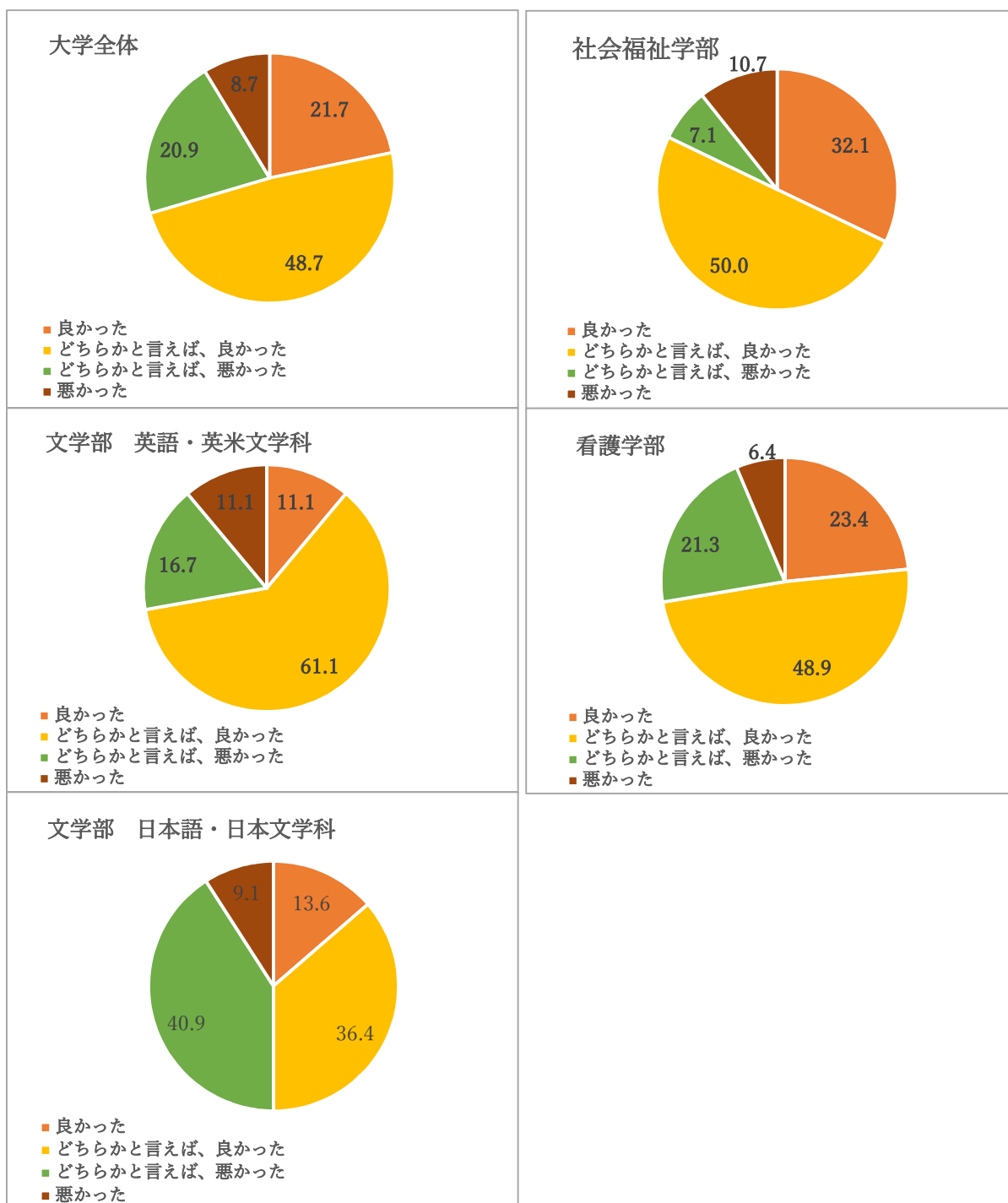




**設問 10 就職活動に対する大学の支援についての評価である。**

大学の支援について、総体的には悪くない評価であろう。

「良かった」と「どちらかと言えば良かった」が、社会福祉学部では8割超、英文と看護学部でも7割超である。ただし日文のみ5割となっており、大学の就職支援に対する評価は肯定否定相半ばしている。



設問 11 大学教育、大学生活に対して、充実や改善すべき点を自由に記述してもらう設問である。

(多様な要望、意見が出されているので、種類、テーマごとに分類して示す。)

【カリキュラム関係】では、多様な可能性がありとてもよかった。教採対策の科目の充実。対策講座を定期的の開講すべき。発表やディスカッションのアクティブな授業。インターンシップなど4年生からでは少し遅いので3年生のうちから進めてほしい。講義科目の中に、実習のような現場での経験を増やす。実習に行ける条件が厳しい。【少人数制】が良かったので続けてほしい。【時間割】では、資格取得と他の授業科目とのバッティング。

【学務】では、休講の連絡、履修登録はネットでも。【図書館】の蔵書の古さ、ジャパンレッジの使用可能な環境。【学費】が高いという訴え。【学修支援】ではパソコン室の印刷用紙は大学で用意してほしい。学費で間に合わせてほしい。

【就職支援関係】では、青森県外への就職活動支援の充実、県内での就職率の高さは強味なのでもっとアピールを。

【施設・設備関係】では、学習・自習スペース、教室の少なさを訴える意見が目立っている。また、談話スペース、たまり場の要望もあった。【学生食堂】を望む声のほか、食事がとれるスペースが少ないとの声もあった。【エアコン、クーラー】の設置を望む声が非常に高い。

【教員とのコミュニケーション】について、日々の実習や進路のことについてもう少し先生方と話せる機会を設けて。また【教職員】に対する感謝とともに、不満、要望、批判もあった。

なお、詳細は巻末「Ⅲ 資料(2)自由記述一覧」に掲載した。

(以上)

### Ⅲ 資料

#### (1) 卒業時アンケート調査票

(注) 本調査票は、学部ごとに作成したが、構成上は、全学部共通項目と学部固有の項目となっているので、以下では、それらをまとめて一覧できるようにした。

- ・設問1～5、8～11は、全学部共通項目。
- ・設問6、7は各学部固有の項目を含む。

#### 「卒業時アンケート」のお願い

ご卒業おめでとうございます

このアンケートは、弘前学院大学の学士課程教育及び学生支援の点検・評価を目的として、卒業する皆さんに、学士課程教育の効果・成果や学生支援の状況等についてお尋ねするものです。

回答は無記名です。公表される集計結果から個人が特定されることや、回答者が不利益を被ることはまったくありませんので、安心してご回答ください。

なお、回答し難い項目はそのままでも結構です。

平成31年3月 弘前学院大学

**設問1** あなたの所属について伺います。

次の1～5の該当する数字を○で囲んでください。

- |                  |                 |
|------------------|-----------------|
| 1. 文学部・英語英米文学科   | 2. 文学部・日本語日本文学科 |
| 3. 社会福祉学部・社会福祉学科 | 4. 看護学部・看護学科    |

**設問2** 進路について伺います。

【進学】進学された方は、次の1. 2. 3. の該当する数字を○で囲んでください。

1. 他大学の大学院へ
2. 本学の大学院へ
3. 他大学、専門学校等へ

【就職】就職された方は、次の1～23の該当する数字を○で囲んでください。

1. 農業・林業
2. 漁業
3. 鉱業、採石業、砂利採取業
4. 建設業
5. 製造業
6. 電気・ガス・熱供給・水道業
7. 情報通信業
8. 運輸業、郵便業
9. 卸売業、小売業(店員含む)
10. 金融業、保険業
11. 不動産業、物品賃貸業
12. 学術研究、専門・技術サービス業
13. 宿泊業、飲食サービス業
14. 生活関連サービス業、娯楽業
15. 教育、学習支援業
16. 医療
17. 福祉
18. 複合サービス事業
19. サービス業(他に分類されないもの)
20. 公務員
21. アルバイト・フリーター
22. 家事手伝い
23. その他 ( )

**設問3** 弘前学院大学での学業を含む学生生活に対する満足度について伺います。

学業・学生生活について満足していますか。当てはまる数字を○で囲んでください。

- 4: 満足している
- 3: おおむね満足している
- 2: どちらかといえば満足していない
- 1: 満足していない

**設問4** 満足度についてももう少し具体的に伺います。あなたの勉学や学生生活にとって、良かったと思うものは何ですか、数字を○で囲んでください(複数回答5つまで)

1. 授業科目
2. 実習・演習、ゼミナールの活動
3. 少人数教育
4. キャリア教育
5. インターンシップ
6. 資格取得
7. 部活・サークル活動
8. ボランティア活動
9. 海外留学
10. アルバイト
11. その他 ( )

**設問5** 大学生活での学修について、自分自身としてはどのように評価していますか。

当てはまる数字を○で囲んでください。

- 4: そう思う
  - 3: どちらかと言えばそう思う
  - 2: どちらかと言えばそう思わない
  - 1: そう思わない
1. 学生生活全体を通じて、大学の授業によく出席した。 4・3・2・1
  2. 学生生活全体を通じて、何を学ぶのかを明確に理解していた。 4・3・2・1
  3. 学生生活全体を通じて、課題や試験の準備に真剣に取り組んだ。 4・3・2・1
  4. 学生生活全体を通じて、授業の内容を十分に理解することができた。 4・3・2・1
  5. 学生生活全体を通じて、授業に対し、意欲的・積極的に取り組んだ。 4・3・2・1

### 【文学部用】

設問6 1年次～2年次における基礎教育科目、教養科目や一般教育科目の中で、次に示す分野や科目について、あなたの学生生活において、ためになった、役に立ったと思っていますか、当てはまる数字を○で囲んでください。

- 4：そう思う  
3：どちらかと言えばそう思う  
2：どちらかと言えばそう思わない  
1：そう思わない

- |                                   |         |
|-----------------------------------|---------|
| 1. 基礎科目（基礎演習）                     | 4・3・2・1 |
| 2. 一般教育科目（キリスト教、人間・社会、自然、地域、教養演習） | 4・3・2・1 |
| 3. 外国語科目                          | 4・3・2・1 |
| 4. 保健体育科目                         | 4・3・2・1 |
| 5. キャリアサポート科目                     | 4・3・2・1 |
| 6. 単位互換科目                         | 4・3・2・1 |
| 7. 情報処理関係科目                       | 4・3・2・1 |

### 【社会福祉学部用】

設問6 1年次～2年次における基礎教育科目、教養科目や一般教育科目の中で、次に示す分野や科目について、あなたの学生生活において、ためになった、役に立ったと思っていますか、当てはまる数字を○で囲んでください。

- 4：そう思う  
3：どちらかと言えばそう思う  
2：どちらかと言えばそう思わない  
1：そう思わない

- |                     |         |
|---------------------|---------|
| 1. 基礎教育科目（基礎演習）     | 4・3・2・1 |
| 2. 基礎教育科目（社会科学研究方法） | 4・3・2・1 |

### 【看護学部用】

設問6 1年次～2年次における基礎教育科目、教養科目や一般教育科目の中で、次に示す分野や科目について、あなたの学生生活において、ためになった、役に立ったと思っていますか、当てはまる数字を○で囲んでください。

- 4：そう思う  
3：どちらかと言えばそう思う  
2：どちらかと言えばそう思わない  
1：そう思わない

- |                          |         |
|--------------------------|---------|
| 1. 基礎演習                  | 4・3・2・1 |
| 2. 一般教育科目（キリスト教概論、心理学など） | 4・3・2・1 |





**設問 9** 大学の学修環境について伺います。施設、設備、備品の充実度はいかがでしたか。当てはまる数字を○で囲んでください。

4. 良かった
3. どちらかと言えば、学修、研究にそれほど不自由は感じなかった。
2. どちらかと言えば、学修、研究にやや苦勞した
1. 悪かった

**設問 10** 就職活動への大学の支援についてはいかがでしたか。

当てはまる数字を○で囲んでください。

4. 良かった
3. どちらかと言えば、良かった
2. どちらかと言えば、悪かった
1. 悪かった

**設問 11** 大学生活を振り返って、弘前学院大学の教育について、今後、充実や改善すべき点があれば、それはどのようなところでしょうか、自由に書いてください。

---

---

---

---

---

---

質問は以上です。

ご協力ありがとうございました。

皆様のご健康と今後のご活躍を祈念します



## 資料（２） 設問 11 「自由記述」 一覧

（引用にあたって、固有名詞および個人が特定される恐れのあるものは割愛した。）

### カリキュラム

- 多様な可能性があり、とてもよかった。
- 教採対策の科目を充実させてほしい。もっと教員を目指す学生が増えるように、対策講座を定期的に開講すべきだと思う。
- 発表や討論（ディスカッション）するアクティブな授業が欲しい。
- インターンシップなどを3年生のうちからすすめてほしい。4年生からでは少し遅いような気がする。
- 社会福祉学部の講義科目の中に、実習のような現場での経験を増やしても良いのかなと感じました。
- 実習に行ける条件が厳しいと思います。もっと実習に行って資格をとりたかった人がいると思います。
- 教育内容を充実させてほしい。
- オーダーメイド学習じゃないです全然。友達がいたので頑張ったけど、そうじゃなかったらとっくにやめたと思います。もう少し考えた方がいいと思います。今後のためにも！改善してください。
- 科目はなるべく取りやすいものにし、単位取得に充実したものに変わって行った方が良いと感じた。

### 時間割

- 資格取得にあたり、授業の重なりがあって苦勞した。

### 少人数制

- 少人数制が良いと思っているので、これからも継続していくとよいと思います。

### 教員とのコミュニケーション

- 日々の実習や進路のことについてももう少し先生方と話せる機会を設けてほしかった。

### 学務

#### **（休講の連絡—ネットで）**

- 休講の連絡はネットにも出してほしい（家が遠い人が困る）
- ネットで休講などの連絡を閲覧できるようにすると遠方から通学している学生にとっては、非常に助かります。

#### **（履修登録）**

- 履修登録を手書きではなく、パソコンを使って登録するシステムを導入してほしい。家でできるように。大学のサイトからアクセスして自動登録できるように！

### **(事務連絡)**

○一番改善してほしいのは学務課との連絡をもっと密にしてほしかった。

### **図書館**

○図書館で自由に使えるパソコン（ジャパンナレッジが使用できる）がもっと欲しかった。

○図書館に所蔵されている本が全体的に古く、法律やサービス等調べるうえで苦労したので、揃えてほしいです。

○図書館にある看護の本の版が古く参考にならないことがあった。知りたいことが古い本に書いておらず探すことに苦労したので、新しい本を増やしあまり使われていない本を処分してもよいのではないかと思います。

### **学費**

○学費が高いわりに充実した支援とか環境とか全然なかった。

○学費が高すぎるから見直した方がいいです。

### **学修支援**

○パソコン室の印刷の紙は学校で用意してほしい。何かとお金をとりすぎ。学費で間に合わせてほしい。

### **就職支援関係**

○青森県外への就職活動支援（進学）を充実させてほしい。

○県内での就職率の高さは強みだと思うので、生徒にうまくアピールできればもっと良いと思います。

### **施設・設備関係**

#### **(学習スペース等)**

○学習スペースが少ない。国試の勉強をする際に毎回教室を探していた。教室をやつとのもで見つけ予約して使っていても、後輩に4年生が占領していると言われ、とても困った。勉強スペースがないのに学校に出てきて勉強しなければならないために、不自由した。国試が近づいてくると困るので、少し大目にてほしい。

○学生が勉強できるスペースをもう少し増した方が、国試の時期に勉強しやすいと思います。

○人数が多く、入れる場所があまりなかった。

○自習などの勉強スペースが少ない。国試と実習が重なると十分に使えないときがあった。

○実習室をもっと活用できるようにすべき。

○看護棟教室少ない。全学年平等に学習ができる環境にしてほしい。

#### **(談話スペース、たまり場)**

○教授とのかかわりを促す空間

○自由に使える部屋が少ないため改善してほしい。

### (エアコン、クーラー)

- 冷房環境の整備
- エアコン設置
- 夏は暑すぎて授業に集中できませんでした。エアコンはつけた方がいいと思います。
- エアコンがほしい。自由に使える部屋が少ないため改善してほしい。

### (給湯器)

- 給湯器設置
- 看護にもポットが欲しい。

### (学生食堂)

- 学食の充実。学食があった方が便利だった
- 食堂が欲しい。メニューを増やしてほしい。
- 全員が座って食事できるスペースをつくってほしい。
- お昼を食べるスペースが少ないので何とかした方が良い。

### 教員、職員

- 本当に優しい先生もいたので、それだけが救いでした。大変お世話になりました。ありがとうございました。
- (いろいろ苦しい思いをしたが) そんな自分でも意欲を保った要因の一つが尊敬する講師に出会った事が大きい。
- 人の話をきかない、学生を受け入れてくれないのはどうかと思います。それがなければ良かったと思っています。毎日それが悩みで学校に来るのが嫌でした。
- 事実をなかったことにする者が上の方にたつのはやめた方が良いです。学生が辛い立場に立つことになります。
- 学生のことを考えられていない教員・事務員が多い。
- 事務の方々の配慮が欠けていると多々感じた。

### その他

- 東京アカデミの講座を安い値段で受講できるのがよかった。
- 国試対策が東アカ以外はもっと頑張してほしい。
- 講義中うるさい学生への評価を見直してほしい。
- もっと早く新校舎がほしかった。
- 人間的に成長できました。ありがとうございました。

(以上)

## あとがき

このアンケート調査は、本学が全学的に実施したのは今回が初めてであるが、93%の高い回収率であった。卒業間際が多忙な折に、アンケートに快く協力していただいた学生の皆さんに御礼申し上げたい。

本年度の卒業生が入学した4年前には、未だディプロマ・ポリシーは策定・公表されてはいなかったため、的が絞りが切れてはいない面もあるが、ご覧のように、かなり厳しい意見、評価を受けた事項、懸念される実態も浮かび上がった。これらをすべて謙虚に受け止め、然るべく改善方策に着手しなければならない。これらについては、さらに踏み込んだ調査が必要になろうが、速やかに着手したい。

なお、本報告書の作成にあたって、データの整理、図表化は本学の電子機器管理センターにて処理した。今後、データのすべては、昨年度設置された弘前学院大学 I R 室において管理・運用されることになる。  
(大学 F D 委員会委員長 藁科勝之)

2018 (平成 30) 年度 弘前学院大学 「卒業時アンケート調査」実施結果報告書
編集・発行 弘前学院大学：大学 F D 委員会 弘前学院大学 〒036-8577 弘前市大字稔町 1 3 - 1 電話 0172-34-5211 (代) FAX 0172-32-8768
2019 (平成 31) 年 3 月 31 日 発行